施工業者様用

施工前に本書を
必ずお読みください

UniMo

キッチン収納

[ユニモ] 施工説明書

201306

南海プライウッド株式会社

本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659

ホームページ　http://www.nankaiplywood.co.jp/

注意事項

施工をされる方へ
■施工前に必ず本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工を行なってください。
■特に『警告・注意』は必ずお守り下さい。施工される方や、ご使用になる方、他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、厳守すべき内容を以下に区分表示で説明しています。
■本書にそわず、間違った施工・取り扱いを行なった場合には、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

- 屋外禁止：内装専用の製品です。屋外での使用はできません。
- キズ注意：施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。
- 水・湿気禁止：屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。
- 火気厳禁：木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。
- テープ禁止：粘着テープ（セロハンテープ・シール等）を化粧面に貼らないでください。
- 溶剤厳禁：溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置すると シミ・変色・劣化の原因となります。

警告表示の種類と内容　人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の施工・取扱方法について次のような警告表示をしています。内容を、ご理解のうえ、正しく安全に施工を行なってください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。（※2）物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⃠	「してはいけない」を示します。
❗	「必ず行なっていただくこと」を示します。

⚠警告

- ⃠ **指定された部品以外の使用禁止。** 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
- ⃠ **製品にぶら下がらない。** 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。
- ❗ **レールの固定確認。** レールが確実に固定できているか必ず確認してください。固定が不充分な場合、部材の落下原因になり危険です。強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。

⚠注意

- ⃠ **ソフトクローズ機構の分解・改造禁止。** ソフトクローズ機構を扉から外したり、分解や改造、潤滑油を使用したりすると、開閉速度に変化が生じ、非常に危険ですので絶対に行なわないでください。
- ❗ **下地補強を必ず行なう。** 強度が保たれず破損・ケガのおそれがあります。下地は木下地を使用してください。
- ❗ **施工・取付作業は必ず2人以上で行なう。** 破損・ケガのおそれがあります。

ご注意　このマークは本文中で施工方法の注意点やポイントを表示しています。

その他の施工に関する注意事項

ソフトクローズ機構(スムーザー)について
●ソフトクローズ機構は扉を閉じる際の衝突音や跳ね返りを軽減する機能です。指はさみを防止するためのものではありませんので、施工中・開閉の際にはご注意ください。
●ソフトクローズ機構が作動する際、カシャという音が発生します。
●扉を開ける際、50mm程度までの間は操作を重く感じることがあります。

●施工前に下記の**「躯体準備」**を充分ご確認のうえ、施工してください。
●扉部材には取付位置を示すシールを貼っています。
●指定のボルト・ビス止め箇所は確実に実施してください。施工時は傷がつかないよう注意してください。
●電動工具でビス頭がつぶれないよう、締めすぎにご注意ください。

施工時の製品取り扱いに関する注意事項

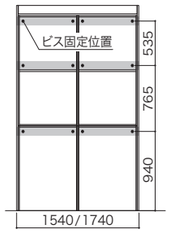
●扉の上レールや扉本体に、ホコリなどの異物が付着したまま施工や動作確認を行ないますと、吊車やレールの摩耗の原因となり正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。
●扉の開閉動作はゆっくり行なってください。扉を勢いよく閉めると、減速せず枠に当たったり、戸先の跳ね上がりが発生したりするおそれがあります。
●扉本体が汚れた場合は、柔らかい布に中性洗剤を薄く溶かした水を含ませて全体を拭き、その後アルミフレームのみ、水分を取り除くために乾拭きしてください。製品をシンナーやアルコールなどの溶液で拭かないでください。色ムラの発生や、劣化を促進する原因になります。
●製品の仮置・保管は直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避け、壁に立てかけて保管してください。
●施工時に製品を床や壁・天井にぶつけないようにご注意ください。特に床は養生を行ない、製品および床面にキズが付かないようご注意ください。
●現場の建築完了まで、扉本体を養生してください。ダンボール等を用いる場合、直接粘着テープを貼らないでください。

躯体準備

●施工前に躯体の垂直・直角を確認し、不陸のないように床面を平滑にしてください。
●あらかじめユニットをビス固定する部分に12mm厚以上の合板（現場調達）で下地補強をしてください。（右図参照）
●床板にL=20ビスを打ちつけるので12mm厚以上のフローリングなどを使用し、施工を行なってください。

ご注意
ユニット本体は、必ず壁面・床面に固定してください。
壁面の下地処理が不充分だと転倒・脱落の原因となります。

[下地補強設置位置]（図＝2枚扉）
※3枚扉の場合も同じです。

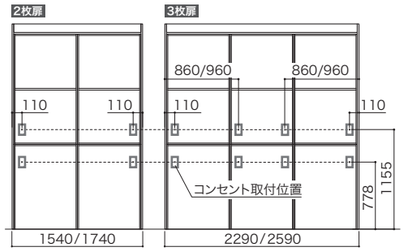


=下地補強位置
3枚扉 W=2290/2590

●コンセントが必要な部分は、あらかじめ壁に電源線を配線してください。（右図参照）

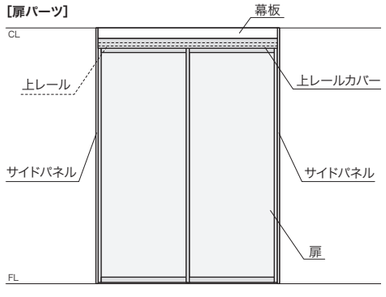
ご注意
コンセント器具の取り付け、結線は必ず電気工事士が行なってください。

[電源線推奨位置]

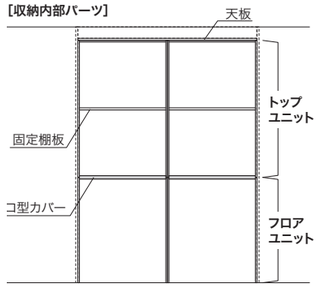


各部名称

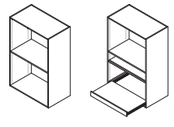
[扉パーツ]



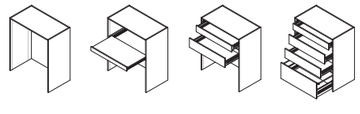
[収納内部パーツ]



■ トップユニット　オープン　スライドテーブル



■ フロアユニット　オープン　スライドテーブル　2段引出し　4段引出し



パーツセット明細

下の一覧表にて部品・本数を充分お確かめください。

	上レール	上レールカバー	ネジL=8	皿ボルトL=20	ビスL=30	ビスL=16	スパナ	下ガイドローラー	ビスL=19	下レール	ビスL=16(シルバー)
アルミ引違戸上レールセット	レール1本につき ●スムーザー×2本 ●吊車×2個 入り										
2枚扉 W1500/1700	2本	1本	6本	12本	4本	4本	1個	1個	2本		
3枚扉 W2250/2550	3本	1本	6本	24本	6本	6本	1個			1本	14本

	ビスL=65	ビスL=30	ビスキャップセット（ワッシャー/キャップ）	コ型カバー	施工説明書 取扱説明書	シール
トップユニット	4本	9本	9セット	1本	3枚	1シート（2枚付き）

	ビスL=65	ビスL=30	ビスL=20	システムビスL=13.5	固定金具	ビスキャップセット（ワッシャー/キャップ）
フロアユニット	2本	3本	4本	4本	4個	5セット

	ビスL=41	ビスL=32	ビスキャップセット（ワッシャー/キャップ）
天板・幕板セット	4本	10本	10セット

	ビスL=32	ビスキャップセット（ワッシャー/キャップ）
サイドパネル	10本	10セット

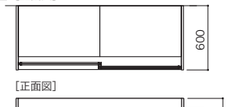
	可動棚受（前右）	可動棚受（前左）	可動棚受（後）
可動棚板	1個	1個	2個

	ビスL=16（ホワイト）	レール　右用	レール　左用
バスケット	6本	1本	1本

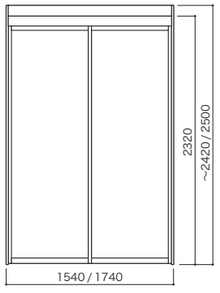
詳細図

■ 設置寸法（製品全体寸法）

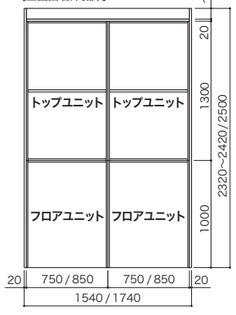
2枚扉 ［上面図］



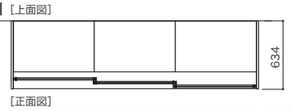
［正面図］



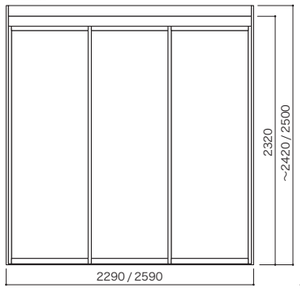
［正面図（扉内部）］



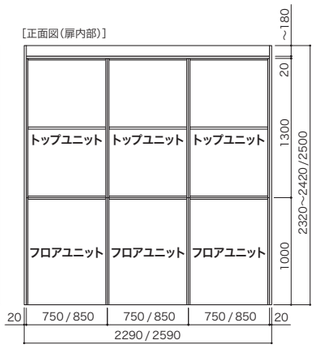
3枚扉 ［上面図］



［正面図］

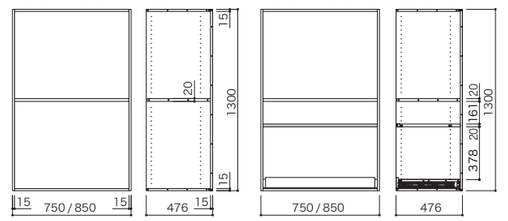


［正面図（扉内部）］



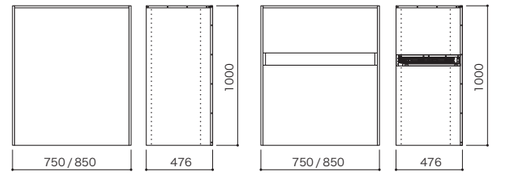
■ トップユニット寸法

トップユニット・オープン　トップユニット・スライドテーブル

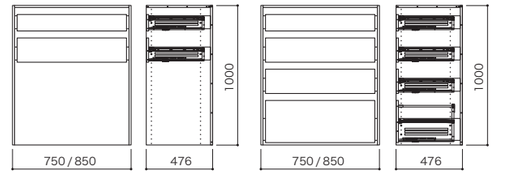


■ フロアユニット寸法

フロアユニット・オープン　フロアユニット・スライドテーブル



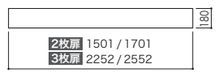
フロアユニット・2段引出し　フロアユニット・4段引出し



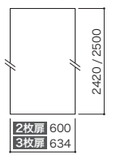
■ 納め材寸法

天板 t=20

幕板 t=15

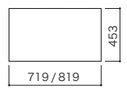


サイドパネル t=20

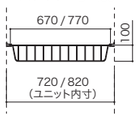


■ オプション寸法

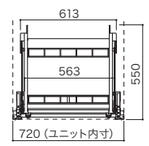
可動棚板 t=20



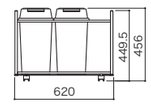
バスケット D=450



昇降ユニット D=300



ダストワゴンセット D=365



ユニット施工手順

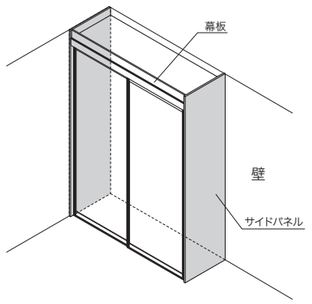
■基本的な施工方法の手順は2枚扉タイプを例に説明しています。相違部分のみ、説明を分けています。

単位：mm

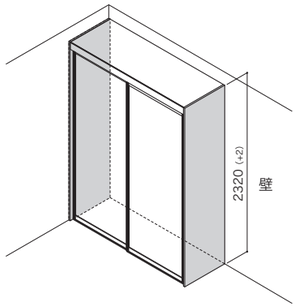
1 事前準備

1 高さに合わせてサイドパネルをカットする

[天井いっぱいに納める場合]
天井の高さに合わせてサイドパネルをカットします。

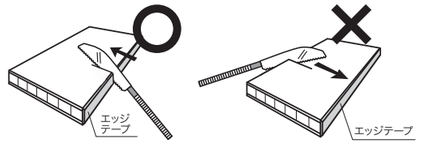


[ユニット上を空ける場合]
サイドパネルをユニットの高さに合わせてカットします。



ご注意

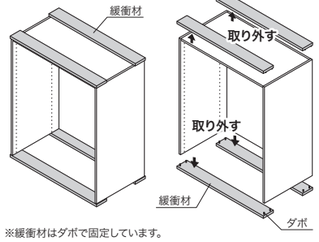
[サイドパネルのカットを行なう場合]
必ずエッジテープ側からカットしてください。



2 ユニットの緩衝材を取り外す

トップユニット/フロアユニットの梱包材を取り、ユニット上下に取り付けてある緩衝材を取り外してください。

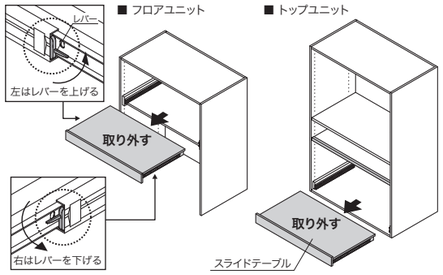
■ フロアユニット(トップユニットも同様)



※緩衝材はダボで固定しています。

3 スライドテーブルをユニットから取り外す

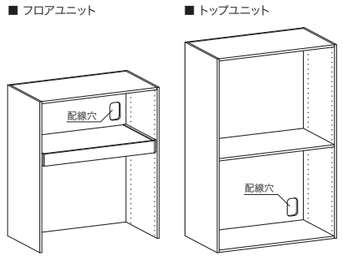
トップユニット/フロアユニットにスライドテーブルが装着されている場合は、ユニットから取り外してください。



4 コンセント取り付けの準備

※コンセントを設置しない場合、この作業は必要ありません。

ユニット背板に、電源線の位置に合わせてコンセント取り付けに必要な配線穴を空けてください。
※穴空け位置は前ページ**「躯体準備」**参照



2 フロアユニットの取付方法

フロアユニットと壁でサイドパネルを挟み、フロアユニットを取り付けます。

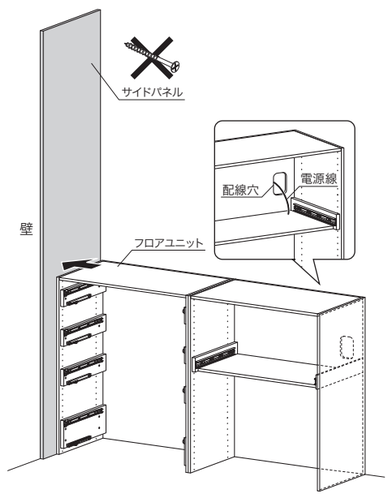
1 サイドパネルをフロアユニットで挟む

サイドパネルをフロアユニットで壁に押し付けて挟み、コンセントの取り付けがある場合は、あらかじめ壁に配線しておいた電源線をフロアユニットの配線穴から取り出します。

※オープン施工(両側壁なし)の場合は、**4 サイドパネルの取り付け**で両側のサイドパネルを設置・固定してください。

ご注意

サイドパネルをビスで固定しないでください。4 サイドパネルの取り付けでビス固定します。



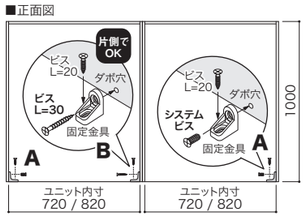
2 フロアユニット側板を床に固定

床面へ側板下部を固定金具で固定し、ユニット同士の側板下部を固定金具(ビスL=30)で連結し、床面へ固定します。

A フロアユニット側板下部[両端]
固定金具…前後計4ヵ所
B フロアユニット側板下部[連結固定]
2枚扉 固定金具…前後計2ヵ所
3枚扉 固定金具…前後計4ヵ所

ビス固定位置

■正面図

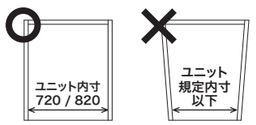


ご注意

ユニットに**引出しレールがある場合は、引出しのないユニット側から取り付け**てください。
(固定金具の取り付けが容易なため)

ご注意

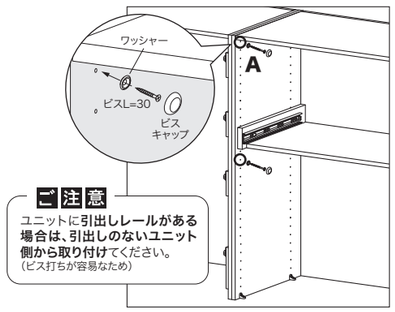
フロアユニットを固定する際は、**ユニット下部の内寸を必ずお守りください。**
あとで、スライドテーブル等が入らなくなります。



3 フロアユニット左右の連結→背壁に固定

左右のフロアユニットをビスL=30(ビスキャップ付)で連結し、フロアユニット背板から背壁に向かってビスL=65(ビスキャップ付)で固定します。

A フロアユニット側板手前側(上から1つ目と中央)
2枚扉 ビスL=30(ビスキャップ付)…計2ヵ所
3枚扉 ビスL=30(ビスキャップ付)…計4ヵ所
B フロアユニット背板(下穴なし)
2枚扉 ビスL=65(ビスキャップ付)…計4ヵ所
3枚扉 ビスL=65(ビスキャップ付)…計6ヵ所

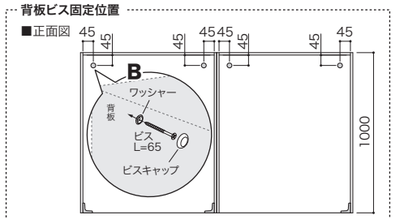


ご注意

ユニットに**引出しレールがある場合は、引出しのないユニット側から取り付け**てください。
(ビス打ちが容易なため)

背板ビス固定位置

■正面図



3 トップユニットの取付方法

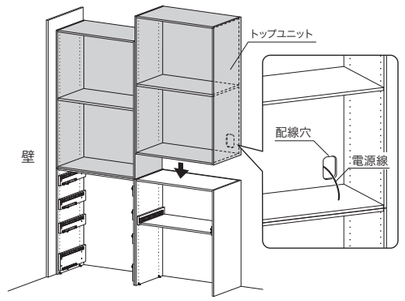
トップユニットを載せ、コ型カバーを取り付け、連結・固定をします。

1 トップユニットを載せる

フロアユニットの上にトップユニットを載せます。
コンセントの取り付けがある場合は、あらかじめ壁に配線しておいた電源線をトップユニットの配線穴から取り出します。

ご注意

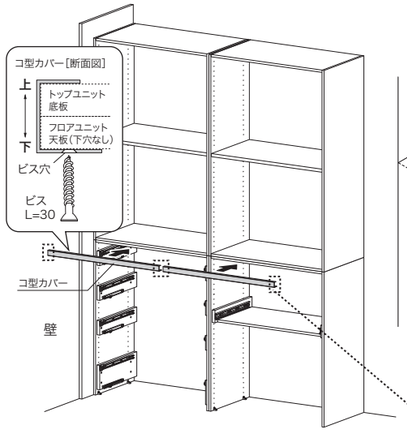
- トップユニットに上下方向はありませんが、配線穴がある場合、配線穴を開けている方が下になります。
- トップユニットを載せる時に、**上下ユニットのたてラインが揃うように配置**してください。コ型カバーが入らなくなるおそれがあります。

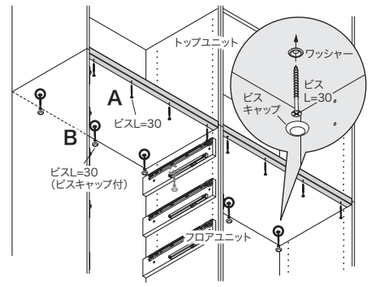


2 コ型カバーの取り付け・ユニット上下の連結

下図を参照し、コ型カバーをユニットに差し込み、コ型カバー下面のビス穴からビスL=30で固定します。フロアユニット奥側より、ユニット同士をビスL=30(ビスキャップ付)で連結します。

A コ型カバー(下側 / フロアユニット天板下穴なし)
2枚扉 ビスL=30…計8ヵ所
3枚扉 ビスL=30…計12ヵ所
B ユニット連結(フロアユニット奥側 / 下穴なし)
2枚扉 ビスL=30(ビスキャップ付)…計6ヵ所
3枚扉 ビスL=30(ビスキャップ付)…計9ヵ所





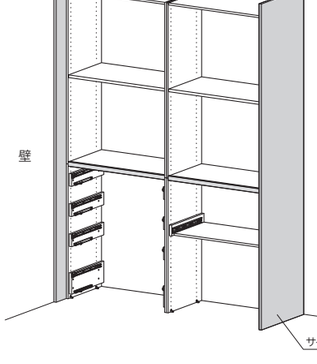
ご注意

コ型カバーの両端は切りっぱなしのため、挿入の際はユニットを傷つけないよう、ご注意ください。

3 トップユニット左右の連結

左右のトップユニットをビスL=30 (ビスキャップ付) で連結します。

トップユニット側板手前側
(天板から固定棚板までの**上から1つ目と下から1つ目**)
2枚扉 ビスL=30(ビスキャップ付)…計2ヵ所
3枚扉 ビスL=30(ビスキャップ付)…計4ヵ所



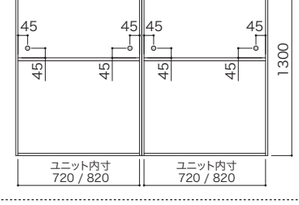
4 トップユニットを背壁に固定

背壁へトップユニットをビスL=65 (ビスキャップ付) で固定します。

トップユニット背板(下穴なし)
2枚扉 ビスL=65(ビスキャップ付)…計8ヵ所
3枚扉 ビスL=65(ビスキャップ付)…計12ヵ所

ビス固定位置

■正面図



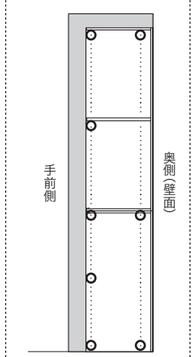
4 サイドパネルの取付方法

ユニットの内側より、両側のサイドパネルをビスL=32(ビスキャップ付)で固定します。

サイドパネル(ユニット内側)
ビスL=32(ビスキャップ付)…片側8ヵ所(計16ヵ所)

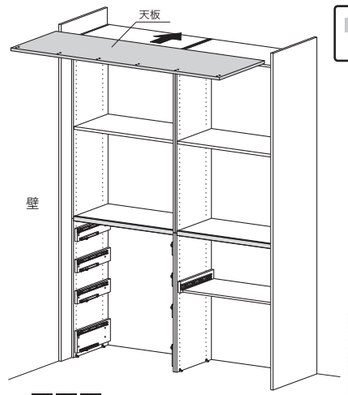
ビス固定位置

■断面図

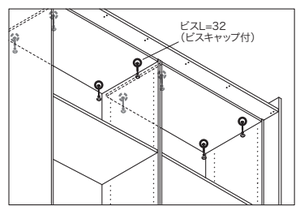


5 天板の取付方法

トップユニットの内側より、天板をビスL=32(ビスキャップ付)で固定します。



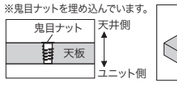
天板(トップユニット内側)
ビスL=32(ビスキャップ付)…計8ヵ所(下穴なし)



ご注意

下図を参照に天板の向きを間違えないよう、ご注意ください。

■断面図
※鬼目ナットを埋め込んでいます。



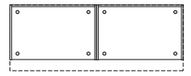
■天板上面

■天板下面

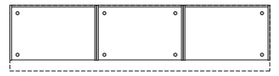
ビス固定位置

■上面図

2枚扉



3枚扉



ユニット施工手順

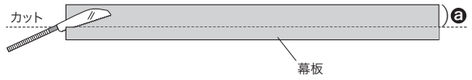
単位:mm

6 幕板の取付方法　※ユニット上を空ける(幕板を取り付けない)場合は、7 の工程へおすすみください。

1 幕板のカット

幕板を天板上面から天井高の高さ (ⓐ) にカットします。

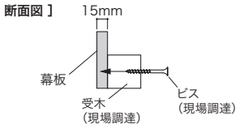
［正面図］



2 受木と連結

幕板に受木 (現場調達) を
ビス (現場調達) で取り付けます。

［断面図］

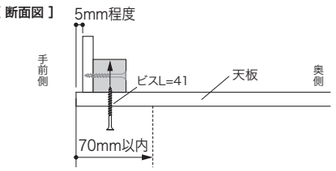


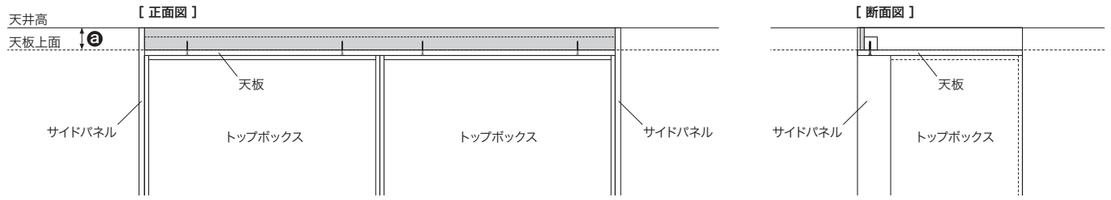
ご注意
ビスが幕板から突き抜けないように
ご注意ください。

3 天板下面より受木を固定します

幕板を天板手前より5mm程度内側に配置し、下図を参考に天板下面より受木をビスL=41で固定します。
(ビス固定位置:前面より70mm以内)

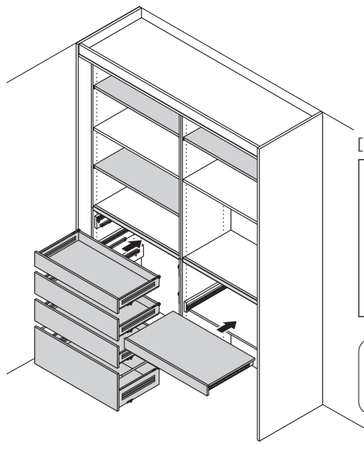
［断面図］



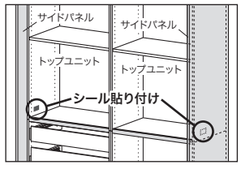


7 引出し・スライドテーブル・可動棚板のセット/シール貼り付け

最初に取り外しておいたスライドテーブルや別梱包の引出しをユニット本体にセットし、
可動棚板をセットします。最後に、同梱のシールをトップユニット両サイドの側板に貼り付けて
完成です。([シール貼り付け位置]参照)



［シール貼り付け位置］

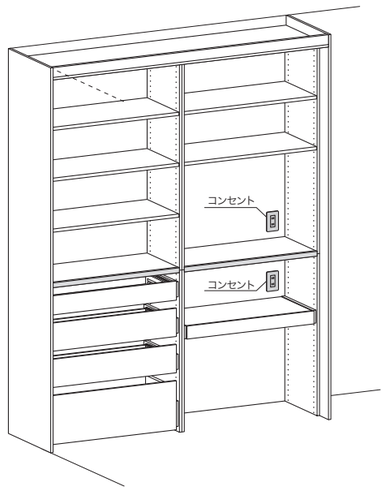


ご注意
シールはダボ穴を避けて貼ってくだ
さい。ダボ穴の上には貼らないよう
ご注意ください。

コンセントの取付方法

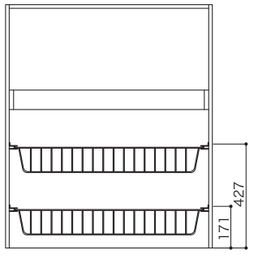
結線後、配線穴部分にコンセントを取り付けます。

ご注意
コンセント器具の取り付け、
結線は必ず電気工事士の方
が行なってください。

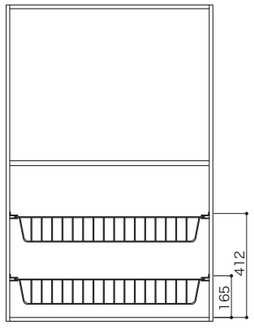


バスケットの取付方法

［取付推奨位置］
下図の寸法を参考に、
バスケットを各ユニットに
取り付けてください。

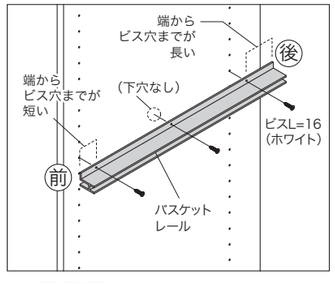


■ フロアユニット

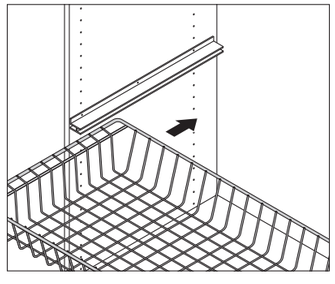


■ トップユニット

1 バスケットレールをユニット側板のダボ穴に、
ビスL=16(ホワイト)を使って固定します。
※ 側板の真ん中は下穴なし



2 バスケットレールにバスケットを差し込みます。



ご注意
●バスケットレールは前後があります。ご注意ください。
●ビスを強く締めすぎないようにしてください。バスケットレールが破損するおそれがあります。

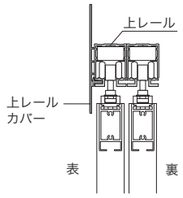
アルミ引違戸各部説明

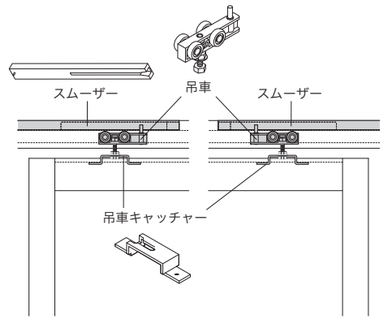
■名称／納まり図

2枚扉

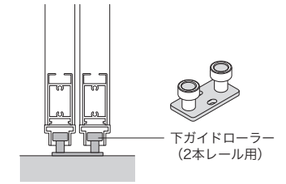
ご注意 扉は右が(前)になります。

上部仕様［断面図］

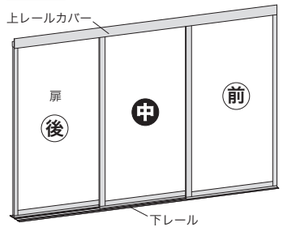




下部仕様［断面図］

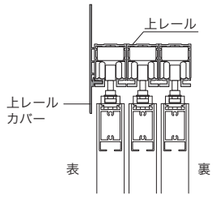


3枚扉

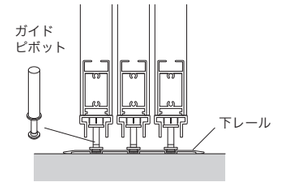


ご注意 扉は右が(前)になります。

上部仕様［断面図］



下部仕様［断面図］



アルミ引違戸施工手順

■基本的な施工方法の手順は3枚扉タイプを例に説明しています。相違部分のみ、説明を分けています。

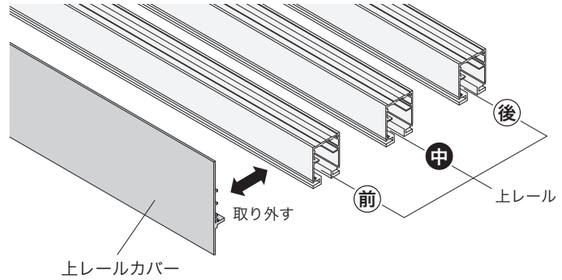
単位:mm

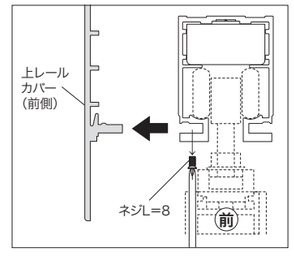
1 事前準備

扉上部のパーツ構成は、右記の内容となっています。内容確認後、上レールカバーを事前に取り外してください。

ご注意
取り外した前側の上レールカバーのネジ
L=8は、最終取り付けの際に使用するの
で、紛失しないようにご注意ください。

2枚扉の場合は(中)がない状態です。

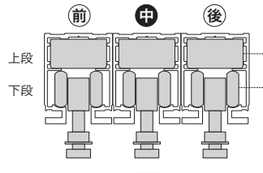




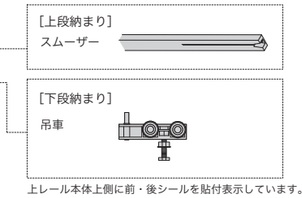
2 確認事項

上レール内に下記のパーツがセットされているか確認してください。
上レールは、(前)用・(中)用・(後)用各1本ずつあります。それぞれ2段構造になっています。各段の正しい位置にパーツがセットされているか確認してください。

2枚扉の場合は(中)がない状態です。

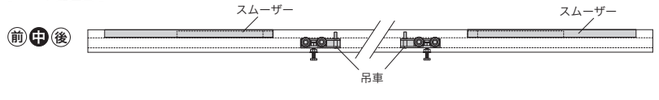


［断面図］



上レール本体上側に前・後シールを貼付表示しています。

［パーツ配置図］



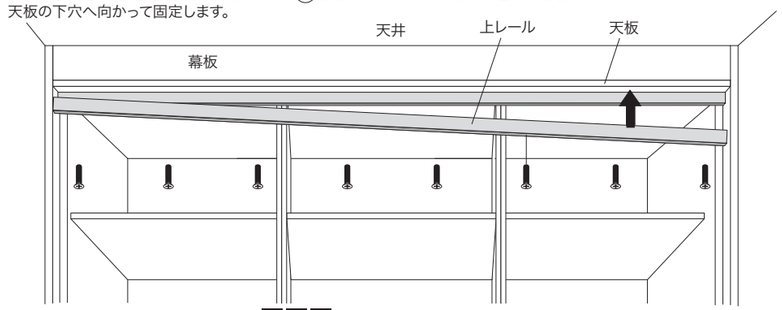
アルミ引違戸施工手順

■基本的な施工方法の手順は3枚扉タイプを例に説明しています。相違部分のみ、説明を分けています。

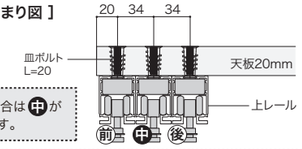
単位:mm

3 上レールの取付方法

上レールを皿ボルトL=20mmで天板部分に (後) から順に1本ずつ、上レールビス穴から天板の下穴へ向かって固定します。

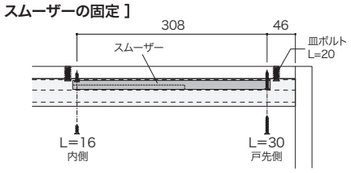


[上レール納まり図]



2枚扉の場合は (中) がない状態です。

[スムーザーの固定]



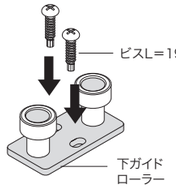
上レールの設置が終了したら、全てのスムーザーを同梱のビスL=30・L=16でレールの下穴に向かって固定してください。

レールビス固定数
2枚扉 1本=6ヵ所・計12ヵ所
3枚扉 1本=8ヵ所・計24ヵ所

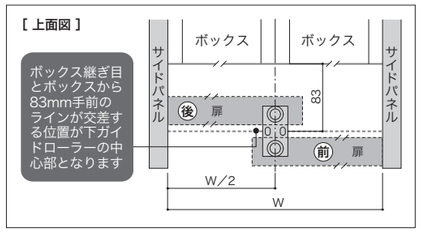
ご注意
- 上レール前側に取り付けている上レールカバーを事前に取り外しておいてください。各種調整作業後、最終段階で再び取り付けます。
- レールを皿ボルトで取り付ける際は、電動ドリルを回しすぎないようにご注意ください。

4 下ガイドローラーの取付方法

2枚扉 下図の指定位置に、下ガイドローラーをビスL=19で固定します。

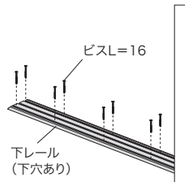


[上面図]

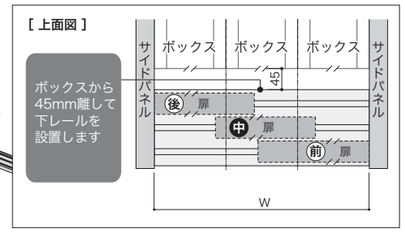


4 下レールの取付方法

3枚扉 下図の指定位置に、下レールをビスL=16で14ヵ所固定します。



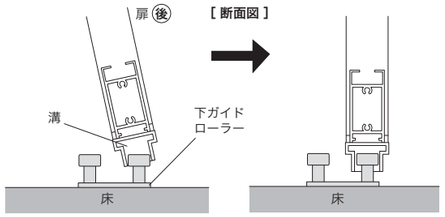
[上面図]



5 扉の取付方法

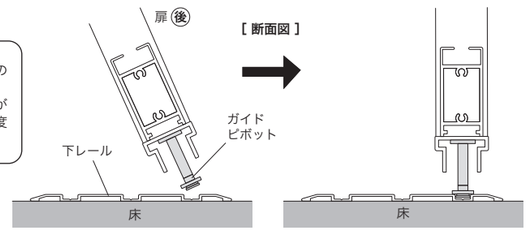
1 下部(扉 (後))の取付

2枚扉 下ガイドローラーににゆっくりと、扉 (後) の溝をはめ込みます。扉は持ち上げながら挿入するとスムーズに取り付けられます。



ご注意
扉にはシールで「表」の指示をしています。取り付けの際に、表裏が合っているかどうか再度確認してください。

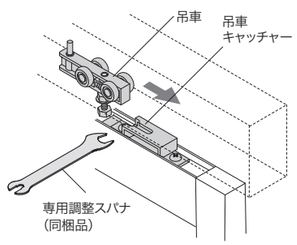
3枚扉 扉 (後) のガイドピボットを下レールの後側に挿入します。



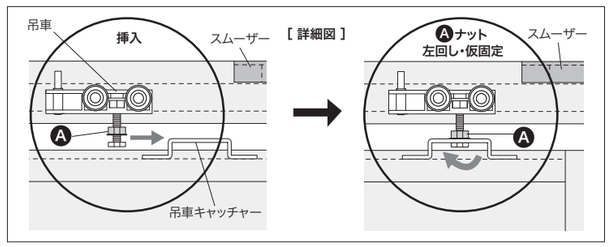
2 上部の取付

扉を垂直にして、上レールの吊車を扉の吊車キャッチャーに挿入し、奥までしっかり差し込み、専用調整スパナ(同梱品)を使ってAのナットを締めて仮固定してください。建てつけ調整は、すべての扉を取り付け後に行ないます。(6 参照)

ご注意
必ず奥まで差し込んで固定してください。差し込みがあまいと、振動や衝撃で余分な負荷がかかり、扉の故障の原因となります。



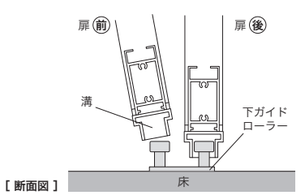
[詳細図]



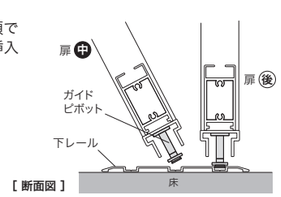
3 扉 (中) (前) の取付

2枚扉 扉 (前) も、扉 (後) と同じ要領で下ガイドローラーに挿入します。

2枚扉は (中) がない状態です。



3枚扉 扉 (中) (前) も、扉 (後) と同じ要領で下レールにガイドピボットを挿入します。



それぞれ 2 を参照し、上部を取り付け・固定を行ないます。

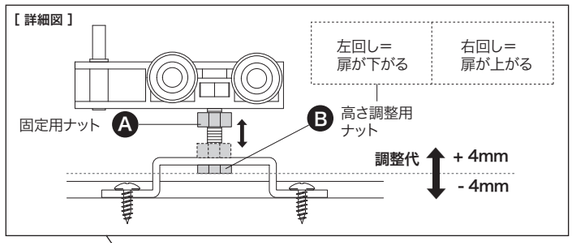
6 高さの調整方法

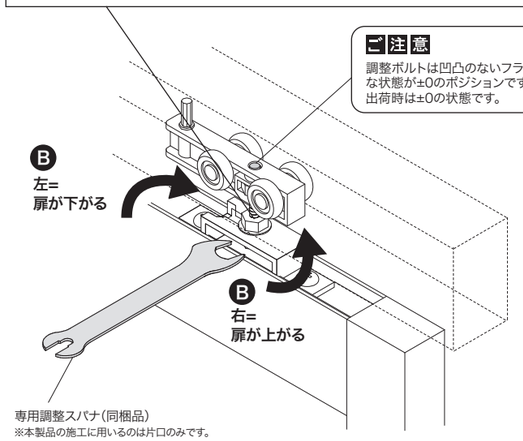
1 Aのナットを専用調整スパナ(同梱品)で右に回し、ゆるめます。

2 Bのナットを回し、扉の高さ調整を行ないます。(調整代±4mm)

3 Aのナットを左に回し、ベストな状態で固定します。

[詳細図]





※本製品の施工に用いるのは片口のみです。

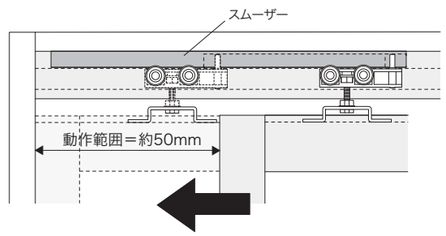
ご注意
調整ボルトは凹凸のないフラットな状態が±0のポジションです。出荷時は±0の状態です。

ご注意
調整代±4mm以上の調整を行なった場合、引違戸の外れや他の部品または床面との干渉が生じ、異音の発生や開閉動作に支障をきたしますのでご注意ください。

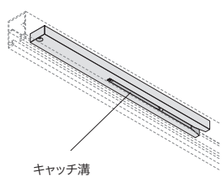
7 スムーザーの動作確認

扉をスライドさせスムーザーが正しく動作しているか確認してください。

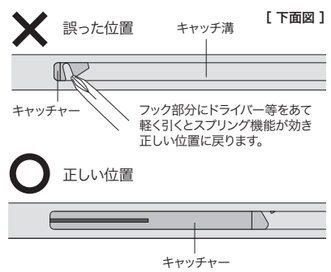
[詳細図]



スムーザー内のキャッチャー位置が正しくないと、スムーザー機能が動作せず扉がゆっくり閉まりません。
下図を参照し、キャッチャー位置を確認してください。正しくない場合は、キャッチ溝にドライバー等を挿入し、軽く引き正しい位置にもどしてください。



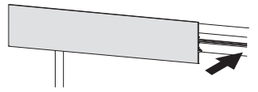
[下面図]



ご注意
スムーザーに油等の潤滑剤を差さないでください。誤作動を起こすため、非常に危険です。

8 上レールカバーの取付方法

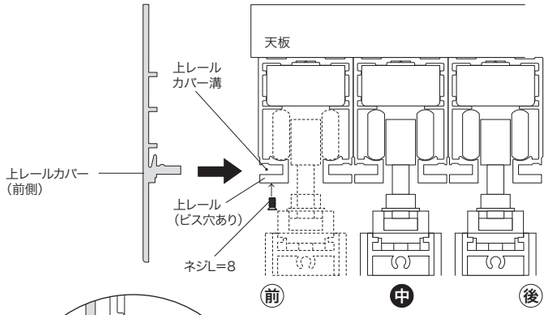
すべての取り付け・調整が終了したら、1 で取り外していた前側の上レールカバーを下図の方法で取り付けてください。
上レール下のビス穴から 1 で取り外していたネジL=8で6ヵ所固定してください。

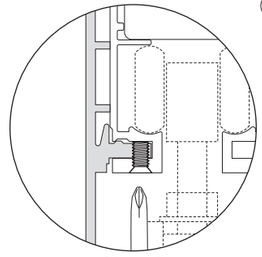


上レール本体の上レールカバー溝に沿って挿入します。

[断面図]

2枚扉の場合は (中) がない状態です。





[拡大図]

ご注意
電動工具は使用しないでください。トルクが強すぎると、ビス頭がつぶれるおそれがあります。